



腎臓と泌尿器の疾患

猫のシュウ酸カルシウム尿石症



獣医師を訪れる猫の3~5%が猫下部尿路疾患 (FLUTD) であるとの研究報告があります。FLUTD は、膀胱と尿道に影響を及ぼす疾患群で、ストレス、飲水量の少なさ、過体重、運動不足、屋内への閉じ込めなど、多くの要因があるとされています。

尿路結石症 (尿の結晶や結石) は FLUTD の 7~22% を占め、シュウ酸カルシウムは二大尿路結石の1つとなっています。他の FLUTD 同様、シュウ酸カルシウム尿路結石症は再発しやすい病気です。ただし、栄養が再発リスクを低減する多面的な戦略の1つになる可能性があります。シュウ酸カルシウム結晶尿の所見は、特に採尿後の尿検査が遅れた場合に偶然生じることがあるので、臨床症状やレントゲン写真の有無に照らして検討する必要があります。

キーメッセージ

- 尿路疾患用の治療食は、猫のシュウ酸カルシウム尿路結石の再発リスクの低減に役立ちます。
 - 水分摂取量と尿量を増やし、より尿を希釈させます。尿を希釈すると、尿石前駆体の濃度が低くなります。尿量が増えると排尿回数も増え、尿石ができる前に前駆物質を排出することができます。
 - FLUTD の管理には、希釈尿の排泄を促すことが推奨されます。
 - 治療食は、シュウ酸カルシウムの生成を抑制するマグネシウムなど、食事に含まれるミネラルやその他の栄養素を最適なバランスで摂取できるようにします。
 - 尿の pH を最適な範囲に保ち、シュウ酸カルシウム尿石の発生を抑制します。
 - 尿石形成の可能性を示す RSS (相対的過飽和度) 技術で測定し、シュウ酸カルシウムの準安定領域が低い尿が作られていると、新たなシュウ酸カルシウム尿石が形成されるリスクが低くなります。

(次のページに続く)

キーメッセージ (続き)

- ストレスや FLUTD のリスク因子を軽減するような対策は次のようなものが含まれます。
 - パズルフィーダーを使ってフードを与えるなど、おもちゃを使って遊んだり、運動したりする時間を設ける。これにより、理想的な体調を維持し、その他のリスク因子が低下する可能性がある。
 - 複数の動物を飼っている場合は、十分な数の道具（給餌器、給水器、清潔な猫用トイレ、おもちゃ、空間など）を用意する。また、簡単にアクセスできる道具（シニア猫が出入りしやすい猫用トイレなど）を設ける。

追加のリソース

Lulich, J. P., Berent, A. C., Adams, L. G., Westropp, J. L., Bartges, J. W., & Osborne, C. A. (2016). ACVIM small animal consensus recommendations on the treatment and prevention of uroliths in dogs and cats. *Journal of Veterinary Internal Medicine*, 30(5), 1564–1574. doi: 10.1111/jvim.14559

Queau, Y. (2019). Nutritional management of urolithiasis. *Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice*, 49, 175–186. doi: 10.1016/j.cvsm.2018.10.004

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。